

# 支援プログラム

事業所名	多機能型拠点ラポリベース 児童発達支援センター				作成日	7年	2月	1日
法人（事業所）理念	～働くことを通して自ら輝き、人を輝かせ、社会を輝かせる～							
支援方針	①感覚統合運動、運動活動、音楽活動、製作活動、言葉の訓練、季節の行事などを行うことで持てる力を伸ばしていきます。 ②活動を通して集団への適応、生活技術や社会性の獲得を目指します。 ③社会との交流を図ることができるよう、心身の状況や環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行います。 ④親子教室を行い、保護者への療育方法の指導や支援の共有化を図ります。 ⑤看護師を配置し、医療的ケアが必要なお子様が利用できる体制を整えます。 ⑥地域の保護者の相談に応じ、適切な資源に繋がります。 ⑦地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り総合的なサービスの提供に努めます。 ⑧障害児通所支援事業所に指導・助言を行います。							
	【うみ組】 ・必要な医療的ケアや体調管理を行い、食事や排泄等の日常生活動作の獲得を目指して活動しています ・身体を動かす遊びを通してポティイメージを育みます ・遊びを通して自分を取りまく環境へ関心を向けられるよう働きかけます ・小集団での活動を行う中でお友だちとの関わり方を学びます ・季節の音楽を聞いたり製作物を作ることで季節の移り変わりを感ずります ・様々な感触素材に触れ、自分の好きな感覚・苦手な感覚を知っていきます							
	【そら組】 ・小集団での活動を通して同年代のお友だちとの関わり方を学びます ・活動の中で社会のルールを学び、身につけていけるよう働きかけます ・ルールのある遊び（勝ち負けや順番があるもの）を行うことを通して気持ちの折り合いのつけ方を学んでいきます ・自分の気持ちを他者に伝える練習を行い、意思表示する経験を積んでいきます ・相手の気持ちを想像する機会をつくり、他者意識を育みます ・様々な活動に取り組む中で興味関心の幅を広げていきます							
営業時間（1）	平日	10時	0分	から	17時	0分	まで	送迎実施の有無 あり なし ※必要に応じて対応いたします。
営業時間（2）	祝日	10時	0分	から	16時	0分	まで	
営業時間（3）	土曜	10時	0分	から	14時	0分	まで	
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	【ねらい】 (1) 健康状態の維持・改善 (2) 生活リズムや生活習慣の形成 (3) 基本的な生活スキルの獲得  ・健康な心と身体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援します 具体的内容 ①毎月第2火曜の嘱託医による内科検診、第3金曜の訪問歯科による検診を行い、健康状態を把握します、②常勤看護師1名と非常勤看護師1名によって医療的ケアと日々の健康観察を行います ・睡眠、食事、排泄等の基本的な生活のリズムを身につけられるよう支援し、健康の増進を促します 具体的内容 ①施設内の厨房で栄養士、調理師が昼食・おやつを手作りしています、②お子様に状況に応じて午睡の時間を設け、適切な睡眠時間の調整を行います ・日常生活や社会生活を営めるよう、それぞれの子どもの適した身体的、精神的、社会的訓練を行います 具体的内容 ①毎月1回、火災または地震を想定した避難訓練を実施します、②設定遊びの中で椅子の座り方やお話の聞き方などを学びます ・身の回りを清潔にし、食事、衣類の着脱、排泄等の生活に必要な基本的技能を獲得できるように支援します 具体的内容 ①自分の荷物を決まった場所にしまします、②手洗いをします、③食事の後には手や口元を拭きます、④衣服が汚れた時には着替えます、⑤トイレトレーニングを行っています ・時間や空間がわかりやすくなるよう構造化し、生活環境を整えています 具体的内容 ①設定活動時には始まりと終わりを明確に示します、②注意が持続するよう刺激の少ない環境づくりをしています						
	運動・感覚	【ねらい】 (1) 姿勢と運動・動作の向上 (2) 姿勢と運動・動作の補助手段の活用 (3) 保有する感覚の総合的な活用  ・設定遊びを通して姿勢と運動・動作の基本的技能の向上を目指します 具体的内容 ①運動や感覚統合の活動の中で身体を思い切り動かします、②自分の身体の幅やどの部位がどれくらい動くのかを知る活動をし、ポティイメージを育みます ・様々な補助用具を活用し、姿勢の保持や各種運動・動作がスムーズに行えるよう支援します 具体的内容 ①足の裏が床につかない場合にはその子に合わせた足台を用意します、②姿勢保持の状況に合わせて手すりのついた椅子を使用します ・自力での身体移動や歩行、歩行器による移動など、日常生活に必要な移動能力の向上のための支援を行います 具体的内容 ①歩行が不安定なお子様に対しては手を繋いで歩いたり後ろから支えるような形で介助します、②装具を装着した歩行練習を行います ・保有する視覚、聴覚、触覚等の感覚を活用できるよう遊びを通して支援します 具体的内容 ①感覚統合、音楽、感触などの設定遊びを通して感覚を活用していきます ・保有する感覚器官を用いて状況を把握しやすくなるよう眼鏡や補聴器等の各種の補助機器を活用できるよう支援します 具体的内容 ①眼鏡や補聴器等を装着して活動に参加していただいています ・感覚や認知の特性をふまえて感覚の偏りに対する環境調節を行っています 具体的内容 ①苦手な感覚に無理に触れさせたり見せたりすることはしません、②空間に苦手なものがあることが苦痛な場合は別の場所に移動します						
	認知・行動	【ねらい】 (1) 認知の発達と行動の習得 (2) 空間・時間、数等の概念形成の習得 (3) 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得  ・設定遊びを通して認知機能の発達を促していきます 具体的内容 ①クイズや仲間分けなどを行います、②様々な経験を重ねることで概念形成を促します ・環境から情報を取得し、そこから必要なメッセージを選択し、行動につなげるという一連の認知過程の発達を支援していきます 具体的内容 ①必要なメッセージが何であるか気付けるように職員がヒントをだしています ・物の機能や属性、形、色、音が変化の様子、空間・時間等の概念形成を図ることによって、それを認知や行動の手がかりとして活用できるように支援します 具体的内容 ①製作や感触、リトミックでは形、色、音の変化がわかるよう活動を設定しています、②空間や時間に関心を向けるような働きかけをしています ・数量、形の大きさ、重さ、色の違い等の習得のための支援を行います 具体的内容 ①絵本を通して数、物の大小、色の違いなどを視覚的に理解できるよう働きかけています、②活動の中で様々な質問をし、数や大小、重さなどの概念の獲得を促します ・認知の特性を踏まえ、自分にとってくる情報を適切に処理できるよう支援し、認知の偏り等の個々の特性に配慮します。また、こだわりや偏食等に対する支援を行います 具体的内容 ①いろいろな物に注意が向くお子様に対しては部屋に置く物を減らすなど刺激の少ない環境づくりをしています、②偏食があるお子様にはお弁当を持参していただくなど苦手なものを無理に口にしないでも過ごせるようにしています ・感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、及び適切行動への対応の支援を行います 具体的内容 ①苦手な感覚を見極めたうえで楽しみながら活動できることを提案していきます、②発語によるコミュニケーションだけでなく視線や表情を通じてお子様と関わります						

言語 コミュニケー ション	<p>【ねらい】</p> <p>(1) 言語の形成と活用 (2) 言語の受容及び表出 (3) コミュニケーションの基礎的能力の向上 (4) コミュニケーション手段の選択と活用</p> <p>・具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつける等により、言語の習得、自発的な発声を促します      具体的内容 ①お友だちの顔や名前を意識したり覚えたりできるよう職員が朝の会、帰りの会でみんなの名前を順番に呼んでいます、②「自由遊び」の時間にはお友だちからおもちゃを借りたら「ありがとう」、お友だちに対していけないことをしてしまった時には「ごめんね」、おもちゃを貸してほしいときには「貸して」、貸しても良いと思ったときには「いいよ」などコミュニケーションのお手本を職員が見せていきます      ・話し言葉や各種の文字・記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出する支援を行います      具体的内容 ①お友だちとの関わりが描かれた絵本や紙芝居などを活動の中で読んでいきます、②遊びの中で子どもたちの意見を聞く機会をたくさん設けます      ・個々に配慮された場面における人との相互作用を通じて共同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力のための支援を行う      具体的内容 ①場面に応じて注目すべき人や物をわかりやすく提示しています、②注意が向きやすくなるよう刺激の少ない環境づくりをします、③相手と視線を合わせる練習をします      ・指差し、身振り、サイン等を用いて、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援します      具体的内容 ①発語だけでなく、ジェスチャーやマカトンサインを交えて視覚的にわかりやすいコミュニケーションを行います      ・障害の特性に応じた読み書き能力の向上のための支援を行います      具体的内容 ①絵本と一緒に読むことで、文字を読むことができるかを見ていきます、②自分の名前の読み書きの練習を活動や個別療育の中で行います      ・各種の文字・記号、絵カード、機器等のコミュニケーション手段を適切に選択、活用し、環境の理解と意思の伝達が円滑に行えるよう支援します      具体的内容 ①絵カードや写真を用意し、意思の確認を行います      ・手話、点字、音声、文字、触覚、平易な表現等による多様なコミュニケーション手段を活用し、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援します      具体的内容 ①お子様の状況に合わせたコミュニケーション手段を用います</p>										
人間関係 社会性	<p>【ねらい】</p> <p>(1) 他者との関わり（人間関係）の形成 (2) 自己の理解と行動の調整 (3) 仲間づくりと集団への参加</p> <p>・人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行います      具体的内容 ①共感的な支援を行います      ・遊びを通じて人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援していきます      具体的内容 ①活動の中で手遊びを行ったり見本を見せて真似てもらったり遊びをします、②職員の様子に注目してもらって経験を重ね、他者に関心を持ってもらいます      ・感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びから、見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する      具体的内容 ①活動では感覚機能を使った遊びをはじめに取り入れ、徐々に象徴遊びへと促しています、②それぞれのお子様に関心のあつるものを通して人へ関心を向けたり他者と協力して達成する遊びを行っていきけるよう活動を設定しています      ・周囲に子どもがいても無関心である一人遊びの状態から並行遊びを行い、大人が介入して行う連動的な遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援していきます      具体的内容 ①一人遊びの段階のお子様には職員が近くで同じように遊びます、②少しずつ周囲の環境に関心を持ち始めた段階で連動的な遊びを提案します、③お友だちとの関わりが増えてきた段階で共同遊びをします      ・大人を介在して自分のできること、できないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援していきます      具体的内容 ①様々な内容の活動に参加するなかで自分の得手不得手を把握できるよう促していきます、②気持ちの調整が難しい場合には職員がその時の気持ちを代弁したり静かに見守ります、③気持ちの調整ができたときには思いきり褒めます      ・集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるように支援します      具体的内容 ①ルールは理解しやすいよう端的に説明します、②活動の前には職員が見本となり、遊びのルールを示します、③見通しを持って活動に参加できるよう終わり始まりを明確にします</p>										
家族支援	<p>【ねらい】</p> <p>(1) 家族からの相談に対する適切な助言やアタッチメント形成 (2) 家庭の子育て環境の整備 (3) 関係者・関係機関との連携による支援</p> <p>・必要に応じて面談を行います      ・令和7年度よりペアレントトレーニングを行い、アタッチメント形成のための助言等を行います      ・関係機関と連携します      ・公認心理師による学習会を2か月に1回実施しているため、関心のあるテーマの時に参加していただけます      ・保護者様同士の交流の場であるつぶやきカフェを毎月開催しています      ・HUG（インターネット上の保護者様専用ページ）を使用し、写真付きで活動報告を行います</p>										
地域支援・地域連携	<p>【ねらい】</p> <p>(1) 地域における連携の核としての役割 (2) 地域の子育て環境の構築 (3) 地域の支援体制の構築</p> <p>・必要に応じて担当者会議等の招集を行います      ・保護者様や地域の事業所が参加できる研修会・勉強会を開催します      ・年3回の坂戸市総合支援協議会子ども部会へ参加し、地域との連携に努めています      ・幼稚園や保育園、療育施設等に訪問します      ・地域の事業所からの見学を随時受け付けています</p>										
移行支援	<p>【ねらい】</p> <p>(1) 保育所等への配慮された移行支援 (2) 移行先の保育園等との連携（支援内容等の共有や支援方法の伝達） (3) 移行先の保育所等への支援と支援体制の構築 (4) 同年代の子どもとの仲間づくり</p> <p>・必要に応じて、移行にあたっての会議を開催します      ・保育園等の情報を保護者様に提供します      ・移行についてのお子様・ご家族のニーズを確認し、お子様の様子をアセスメントします      ・移行先と連携し、お子様のペースに合わせた移行計画を作成します      ・移行先保育園等と連絡を取り合い、情報を交換しながら切れ目のない連携に努めます      ・進路先の小学校への移行を円滑に行えるよう情報交換をしていきます</p>										
職員の質の向上	<p>・朝礼、終礼、土曜ミーティング、毎月の職員会議等で情報を共有し、問題点を話し合い、より良い支援へとつなげています      ・支援会議を毎月1回以上開催しています      ・社内研修を定期的の実施しています      ・職種や雇用形態にかかわらず積極的に社外研修に参加し、専門性を高めています      ・社外研修に参加した際には、後日研修報告会を実施し、研修で得た知識を他職員にも共有しています      ・法人の資格取得助成制度を活用し、質の向上に努めています</p>										
主な行事等	<table border="0"> <tr> <td>【毎月】</td> <td>【2か月に1回】</td> <td>【季節の行事】</td> <td>【その他】</td> <td>・年2回の保護者会 ・年2回の療育参観</td> </tr> <tr> <td>・避難訓練 ・歯科検診 ・健康診断 ・つぶやきカフェ</td> <td>・学習会 ・親子教室</td> <td>・水遊び ・運動会 ・クリスマス会 ・卒式</td> <td>・公認心理師による発達検査、心理検査の実施 ・言語聴覚士による言語検査の実施</td> <td></td> </tr> </table>	【毎月】	【2か月に1回】	【季節の行事】	【その他】	・年2回の保護者会 ・年2回の療育参観	・避難訓練 ・歯科検診 ・健康診断 ・つぶやきカフェ	・学習会 ・親子教室	・水遊び ・運動会 ・クリスマス会 ・卒式	・公認心理師による発達検査、心理検査の実施 ・言語聴覚士による言語検査の実施	
【毎月】	【2か月に1回】	【季節の行事】	【その他】	・年2回の保護者会 ・年2回の療育参観							
・避難訓練 ・歯科検診 ・健康診断 ・つぶやきカフェ	・学習会 ・親子教室	・水遊び ・運動会 ・クリスマス会 ・卒式	・公認心理師による発達検査、心理検査の実施 ・言語聴覚士による言語検査の実施								